

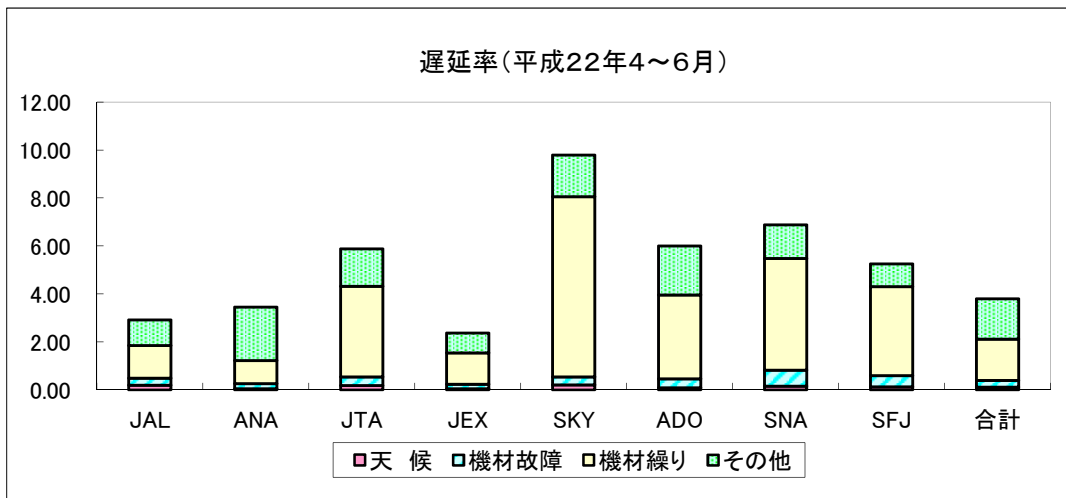
特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成22年4~6月)のポイント

※日本航空: JAL(日本航空インターナショナル及びJエアを含む)、全日本空輸: ANA(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空: JTA、ジャルエクスプレス: JEX、スカイマーク: SKY、北海道国際航空: ADO、スカイネットアジア航空: SNA及びスターフライヤー: SFJ

1. 輸送サービスの比較等に関する情報 (1) 遅延率(平成22年4月~6月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
3.79%	2.97%	0.82ポイント悪化

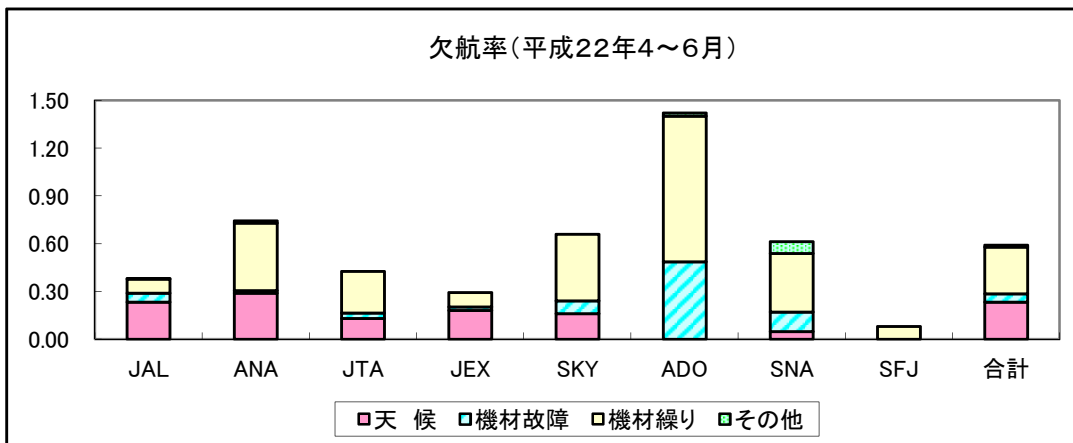
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成22年4月~6月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.59%	0.57%	0.02ポイント悪化



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成22年4～6月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	906km	906km	0.0%減
輸送人員	1928万9831人	1860万5209人	3.7%増
輸送人キロ	174億6930万人キロ	168億5937万人キロ	3.6%増
旅客収入	2775億30百万円	2779億70百万円	0.2%減
輸送人員あたり 旅客収入	14.4千円	14.9千円	3.4%減
輸送人キロあたり 旅客収入	15.9円	16.5円	3.6%減

(2) 路線別データ(平成22年4～6月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	203万9684人
2位 東京＝福岡	178万9857人
3位 東京＝大阪	128万7685人
4位 東京＝那覇	111万0600人
5位 東京＝鹿児島	49万8945人
全路線	1918万2097人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

1位 大阪＝那覇	78.1%
2位 羽田＝神戸	76.3%
3位 那覇＝岡山	76.0%
4位 成田＝大阪	75.4%
5位 神戸＝茨城	73.2%
全路線	60.6%

下位5路線は次のとおり。

1位 福岡＝神戸	22.3%
2位 中部＝徳島	22.9%
3位 東京＝大島	26.6%
4位 札幌＝稚内	26.8%
5位 福岡＝福江	27.8%
全路線	60.6%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成22年4～6月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	北海道国際航空	1.79人	1.62人
②	全日本空輸	1.37人	1.23人
③	スカイネットアジア航空	0.76人	0.23人
	全社平均	0.96人	0.81人